

2022年度事業報告

基本姿勢

① 自治体をサポート

NPO ブックスタートの取り組みの中心は、自治体におけるブックスタート事業の実施と充実につながるサポート（研修や情報提供、ブックスタート・パック販売業務など）です。2022年度は、ブックスタートでの読みかさを一時中止している自治体に向けた情報発信に注力し、対象者と対面して実施することの意義、実施する上での工夫について、研修・ニュースレター等で重点的に取り上げました。また、多言語対応についてさらなる取り組みの検討を行いました。

2022年度の取り組みより▶

自治体向け資料の拡充、オンライン研修会開催、多言語対応絵本の提供準備など

② 社会への発信と関係構築

ブックスタート事業及びシェアブックスへの理解や関心が社会全体で高まるよう、新たな切り口や媒体等への情報発信に努めました。また、多文化対応の検討や写真コンテスト広報では各種団体との関係性を深め、具体的な協力を得ることで、各企画の充実を目指しました。

2022年度の取り組みより▶

リリース配信、母子保健や学校図書館分野の媒体への寄稿、講演録発行、写真コンテストの開催など

ブックスタート実施自治体数 **1,096** 市区町村 → P8: 全国の実施自治体一覧

全自治体数 1,741 / 普及率 63.0% (2023年3月末)

		2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ブックスタート	自治体数	36	319	572	650	571	598	635	685	705	752	806	834	866	902	946	986	1,025	1,036	1,051	1,066	1,092	1,096
	普及率	1.0%	10.0%	18.0%	26.0%	31.0%	33.0%	35.0%	38.0%	40.0%	43.0%	46.0%	48.0%	50.0%	51.8%	54.3%	56.6%	58.9%	59.5%	60.4%	61.2%	62.7%	63.0%
全国	自治体数	3,246	3,235	3,155	2,544	1,844	1,827	1,816	1,800	1,750	1,750	1,742	1,742	1,742	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741
	年間出生数	118.2	116.5	113.5	112.2	107.4	110.5	110.3	110.5	108.2	108.4	106.2	105.1	104.3	101.9	102.0	99.4	96.3	93.5	88.4	86.0	83.0	77.1

*年間出生数：日本における日本人+日本における外国人。2022年は概数のため、日本における外国人は含まれない。

2022年度の取り組み

01 | 自治体への情報提供

自治体からの問い合わせ・相談対応／資料提供／関係構築

- ブックスタートを実施中の市区町村からの問い合わせ・相談に対応。
- 事業実施をサポートする各種資料を無料で提供（ニュースレター、ハンドブック、当NPO刊行の書籍、視覚障害／外国語が母語の対象者向け資料など）。

新資料提供▶ 保護者向け資料「赤ちゃん絵本のひとときを」
→保護者向けメッセージを記載した紙袋の無料提供を終了するに
あたり作成し、ダウンロードデータとして提供。



実施自治体に関する情報収集／取材・見学

- 実施自治体から年1回、実施状況に関する情報を受領し集計。
- 取材見学訪問（計4件）

障害のある対象者、外国語を母語とする対象者に向けた資料や情報の提供

- 障害のある対象者、外国語を母語とする対象者に向けた資料や情報の提供。
- てんやく絵本への交換対応（1件）、多言語対応資料の提供および新資料・取り組みの検討・準備
2023年度▶実施会場掲示用のあいさつポスター、多言語対応絵本を提供
- 障害や多言語対応に関連する分野、ブックスタート事業の対象となり得る病院や乳児院で過ごす赤ちゃんに関する情報収集。

都道府県・国への情報発信

- 都道府県の図書館・教育委員会・子育て支援・母子保健の担当者へ情報提供。
- 文部科学省「子どもの読書推進に関する有識者会議」に参加。
- 内閣府（子ども・子育て本部）の依頼で、「家族の日」「家族の週間」の広報に協力。

02 | 自治体への研修実施

全国研修会を開催（オンライン・NPOブックスタート主催）

● プログラム

[講演] 絵本は親子のゆりかご 講師 伊藤明美氏（司書・社会福祉法人芳雄会 図書顧問）

[報告・事例紹介]

- コロナ禍で見えてきたもの～全国の実施状況から～（NPOブックスタート）
- えがお・ふれあい心地よい時間を届けたい～集団健診での実施を通して～（宮城県多賀城市 生涯学習課／子ども家庭課）
- 子育ては一人じゃないよ みんなのちからをかりていいんだよ～訪問事業の現場から～（兵庫県川西市 子ども支援課）

[ライブ配信] 2022年11月29日（事前申込み数：全国46都道府県と海外から約830件）

[見逃し配信] 2022年12月12日～2023年2月28日



2023年度▶11月にオンラインにて開催予定。ブックスタートに関するプログラムのほか、小澤いぶき氏（児童精神科医・NPO法人PIECES代表理事）の講演と2自治体による事例発表で構成。

各自治体の研修会に協力

- 職員派遣（計21件）、オンライン実施（計15件）。

03 | ブックスタート・パックの販売

絵本・各種アイテムを自治体向けに販売

- 自治体からの注文に基づき、絵本、保護者向け冊子、布製バッグを販売。
- 災害特別支援対応 1 件。台風の影響による建物浸水のため被害が生じた絵本等について、新品を無償提供した。



04 | 社会に向けた広報活動

各種媒体・SNS を通じた情報発信・リリース配信／取材・問い合わせへの対応

- 原稿執筆、取材対応、リリース配信（新聞、専門誌、業界紙、読書関連団体など。配信サービス「PR TIMES」非営利団体プログラムを利用）



- メールニュース送信（年 4 回・送付数 約 1,500 件）
- 講師派遣 2 件：子どもを守る文化会議、おやこ劇場川口主催イベント

「いっしょにえほん」プロジェクト

- ブックスタート浸透の土台となる「シェアブックス」を社会に広げる取り組みとして、定期的に Instagram に「#いっしょにえほん」として写真を投稿。
 - 2022 年春に SNS 上で写真コンテストを開催し、子どもとの絵本のひとときの写真とコメントを募集。受賞作品は、Instagram で定期的に発信した @bookstart_japan ▶
- 2023 年度▶ 4～5月に第2回いっしょにえほん写真コンテストを実施。



「子ども社会を考える」プロジェクト

● 講演録を発行

『地域で母子を支える～周産期医療の現場から～』小児科医 三石知左子著（2023年1月発行）

『こども・えほん・うたのこと』シンガーソング絵本ライター 中川ひろたか著（2023年1月発行）

『つながりあう力～官民協働で社会をつくる～』元厚生労働省事務次官 村木厚子著の刊行準備（2023年4月発行）

2023年度▶全国研修会2022での伊藤明美氏による講演の講演録発行を予定。

書籍の販売

- 『絵本は心のへその緒』（松居直 著）は、2022年11月、朝日新聞朝刊「折々のことば」で2回にわたり紹介。注文数増加に対応するため、2022年12月に重版。

- 『ブックスタートの20年』および講演録全タイトルの電子版を作成し、主要ネット書店で販売。



グローバルネットワークに参加。海外の情報収集と日本の経験を発信

- 世界の27の活動が情報共有を行う「Global Network for Early Years Bookgifting」のコアメンバーとして、ネットワークの運営に携わる。
- 年4回、テーマを設定して各活動がプレゼンテーションを行う定例会議のほか、今年度は、まだ活動を始めていないグローバルサウスの国/地域の状況を知るための会議なども企画。
- 各活動の経験から得られた情報を「立ち上げ」「実施」「継続」のカテゴリーに分けてまとめた「ツールキット」の企画/制作に携わる。2024年度にウェブサイトでの公開を予定。

05 | 調査研究

「赤ちゃんへの絵本贈呈事業」に関する全国調査

- 2020年度から開始した全国調査の第3回目を実施。
- 約8割の自治体で、赤ちゃんに絵本を贈呈する事業を実施している実態を把握し、ウェブサイトで公開した。

各種勉強会へ定期的に参加

- 子育て、読書、絵本、図書館分野のほか、障害では「点字つき絵本の出版と普及を考える会」、多文化多言語では「むすびめの会」の勉強会に定期的に参加している。